



当日の作業は、8月末に当地に移動してきた「薪割り機」の試運転を兼ねて、薪割り、薪棚の改修作業、ナラ枯れの伐倒準備・

環境整備を行いました。機械の保管場所を移動させるとよくあることですが、薪割り機の調子が悪く、エンジnstール(エンスト)が度々起きてしまい、調査の結果、燃料コックの掃除か

ら始めるといったアクシデントがありました。薪割り機の取り扱い説明や薪の棚積みの指導も行い、何とか作業を終えることができました。また、10月29日にスクウスクの森で行われる、例会の準備、現地下見を地域の方と行いました。10時には、ご住職からお茶、14時にはジュースとお菓子の差し入れを頂き、休憩中は、それぞれの話に花が咲き、和気あいあいくつろぐ姿は、これも、里山部会の良い所だと思います。15時、予定通り散会。(参加人数18名)。次回は、10月8日(日)。9時から小川フィールドで、竹林整備を行う予定です。これは、2月に竹炭作りのための作業であり、興味のある方は、是非とも参加して下さい。



薪割り機の調整中。



ナラ枯れ伐倒のための準備。

里山部会番外編

9月20日(水)有志が知恵と技を駆使して新しい「薪棚」を完成させました。併せて「薪割り機収納庫」も計画中。

参加者：川原、平尾、富安、高橋山本(薫)、佐藤



椅子の穴開け



来年の干支の辰のパーツ作り



アイデア出し合い作品製作中



9月になっても、うだるような猛暑日が続きましたがここ山本鹿が谷のベースは砂防堰堤工事の為回りの立ち木は伐採されて、以前の涼やかな木陰も無くなり、けっして良い作業環境とは言えません。それでも10月、11月に予定されている色々なイベントのため部材作成に励んでいます。

また、秋のグリーンフェアと森の市での役割分担も話し合いました。来年の干支(タツ)の置き物は竹細工

としましたので、準備のため9月10日の里山部会の際に白木の小川フィールドにて孟宗竹を切り出しました。

クラフト部会参加者の平均年齢は80歳を超えそうまさに超高齢化の極みとなっています。若い世代の参加者が多数来られるよう切望いたします。

9月の参加者延べ人数は22人(但し、16日までの参加)でした。